

- ① 事前アンケートの結果について
- ② 最近のトピック（各省報道発表資料等）
- ③ 改正物流法の施行に向けた検討状況について
- ④ トラック法改正関係、多重化検討会について
- ⑤ トラック・物流Gメンの活動について（四国合同パトロール等）
- ⑥ 参考資料紹介
 - ⑥-1 事前にいただいた問題意識等
 - ⑥-2 トラック輸送の原価計算・標準的運賃・運賃交渉関係資料
 - ⑥-3 中小物流事業者における物流業務のデジタル化事例紹介

事前アンケート結果①

回答者種別



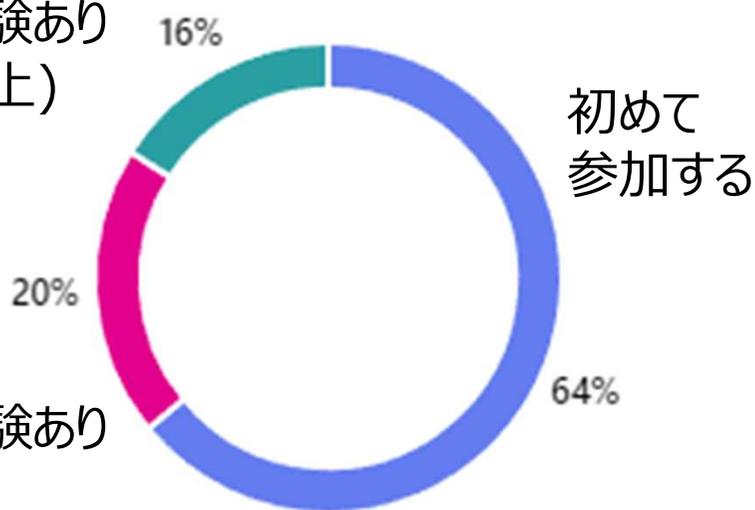
説明会、興味のあるテーマ



オンライン説明会参加経験

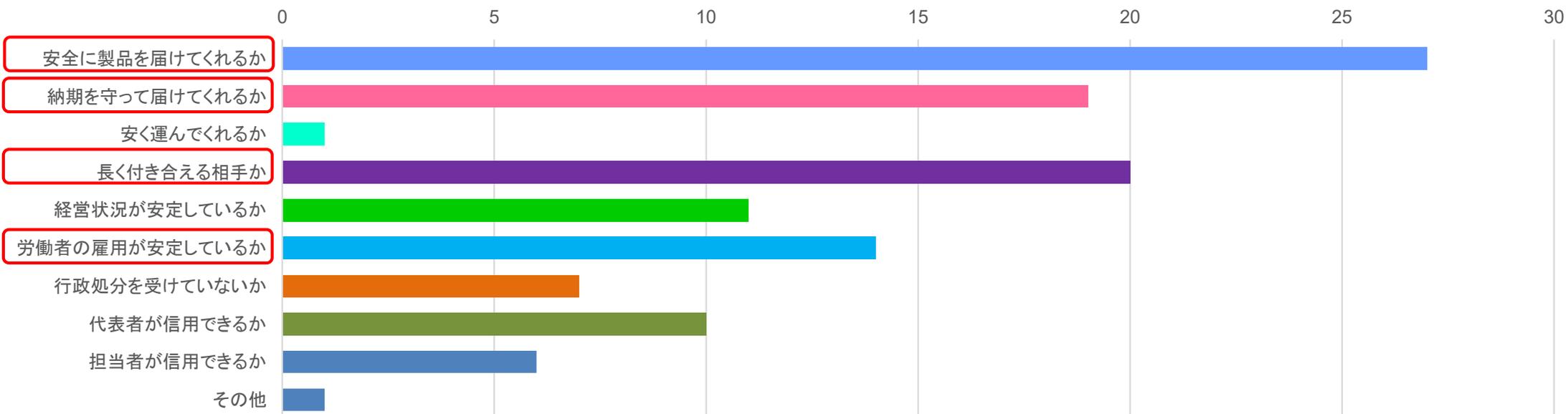
参加経験あり
(2回以上)

参加経験あり
(1回)



事前アンケート結果①

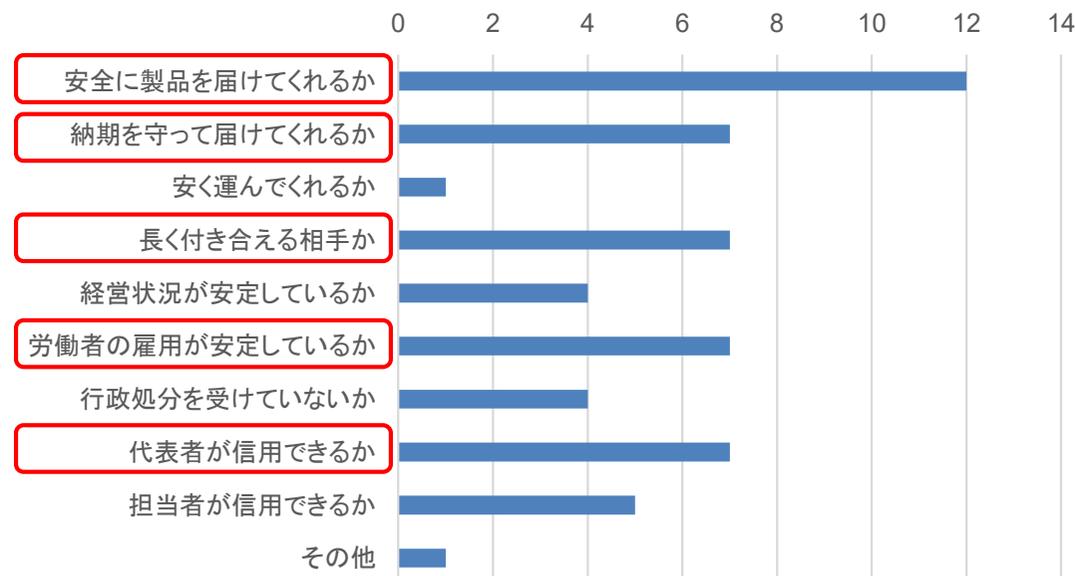
物流パートナー選定の重要項目（全体）



物流パートナー選定の重要項目(荷主回答)

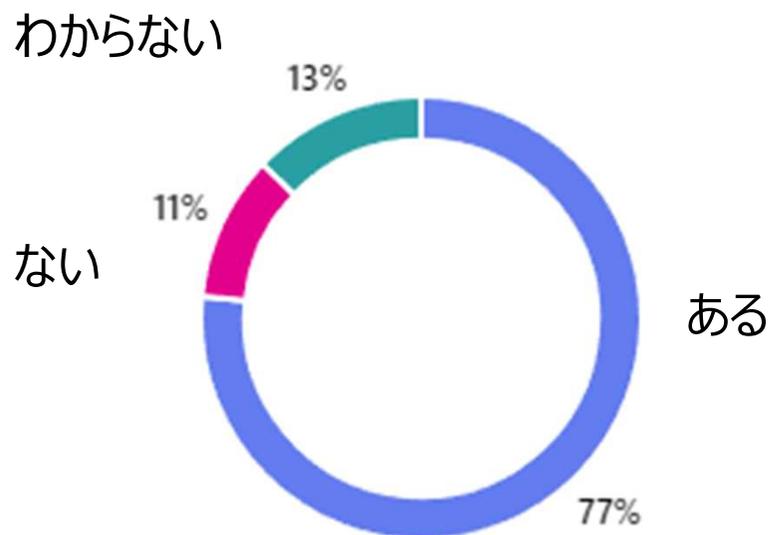


物流パートナー選定の重要項目(物流回答)

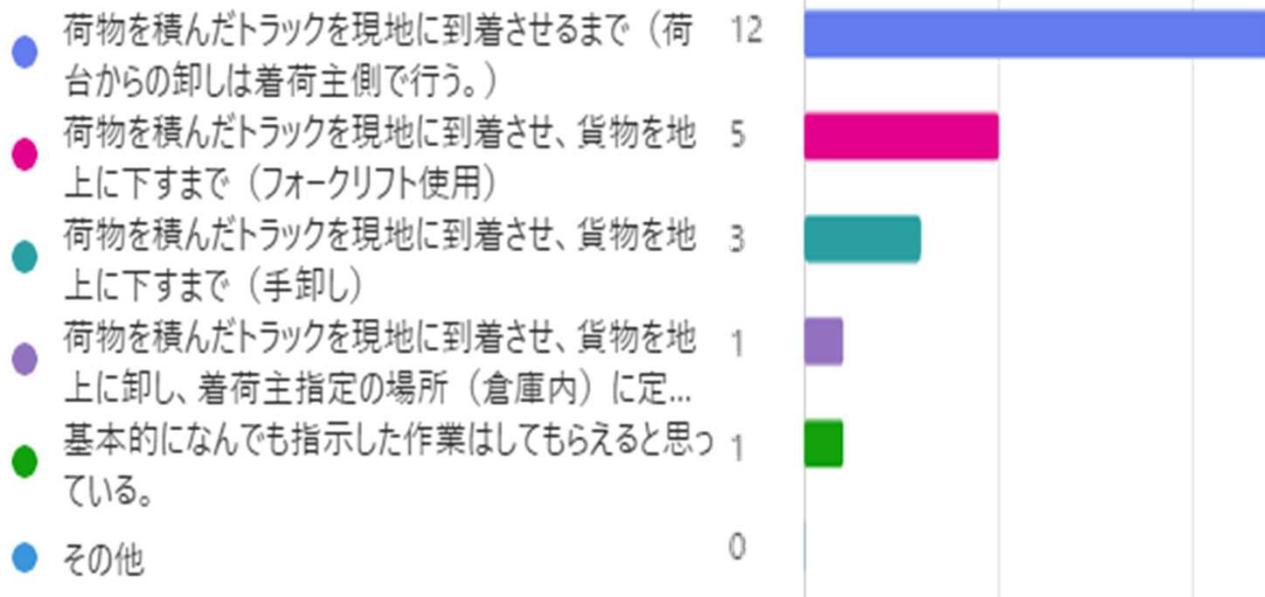


事前アンケート結果②

物流維持への不安の有無



トラックドライバーの業務範囲認識



トラックドライバーに依頼している作業内容

フォークリフトを使った貨物の整理（はい作業）。

トラックドライバーに作業を依頼している理由

これまでもやってもらっているから。こちらも人手不足なので。運賃に作業分も含まれていると思うから。「商慣行の見直しの大事なポイントだと思います。今までやってもらっているからが本音だと思います。リフト作業はトラックの運転とは違う業務であるとは思いますが、荷降ろしでの事故・商品破損の問題も明確になっていないのが現状です。荷主との運送契約のなかで有償とすることで解決したいと思います（元請トラック事業者）。」

事前アンケート結果③

物流維持への不安（具体的内容）

実運送トラック運送事業者

- ・事業継続
- ・次世代の育成・乗務員不足
- ・法令遵守により、経営が傾く企業が出るのではないか。
- ・強制は厳しい。

発・着荷主事業者

- ・トラック（運送会社）の確保
- ・集配時間の遅延
- ・既存ドライバーの高齢化進展
- ・モーダルシフトや共同輸配送などの対策が上手くいくのか不安
- ・繁忙期の入荷商品の遅延

元請トラック運送事業者

- ・現在の疲弊した運送業界の状態で、事業の継承と継続ができるかが不透明。
- ・永続的な人材の確保ができるか、そのためには運送事業者がしっかりと利益が出る体質になる必要がある。

その他事業者

- ・業界内でのドライバーの取りあいでだけだと物流が維持できなくなる（協会）。
- ・若者、女性の物流業界への就職に向けて環境改善が進んでいない（公社）。
- ・実運送側のビジネスモデルが従来のままなので稼げるビジネスを想像できないでいる（行政書士）。